

第88期 年次報告書

平成22年4月1日～平成23年3月31日



O-M Ltd.

大阪市淀川区宮原三丁目5番24号（新大阪第一生命ビル）
TEL (06) 6350-1200（代表） 〒532-0003

株式会社 オールエム製作所



取締役社長
山村 英司

海外事業の促進へ積極的に取り組み、収益力の向上を目指します。

当期の業績について

当連結会計年度におけるわが国経済は、中国、インドを中心とする新興国からの需要拡大や政府による経済対策の効果などにより、生産の持ち直しや企業業績の改善など景気回復基調が続きましたが、円高の長期化や雇用情勢の悪化など、依然先行きは不透明感があり、景気の下振れが懸念される状況となっております。加えて平成23年3月11日に発生した東日本大震災のわが国経済への影響は甚大であり、経済活動が急速に悪化する状況となりました。

このような状況の中、当社グループは第4次中期経営計画をスタート致しました。主な経営施策として、グローバル市場での商品競争力を高めるため、海外事業展開を加速させ、海外生産、海外調達に注力するとともに、品質第一主義を掲げ、モノづくり力の強化に取り組み、高品質な製品の提供に取り組みをまいりました。また、自動包装機械の拡販に向けて、提案型営業を推進しライン受注の強化にも取り組んでまいりました。海

外生産につきましては、平成22年7月に台湾にTAIWAN O-M CO.,LTD.を設立し立型CNC旋盤REXERシリーズの海外委託生産を始め、中国、アジア諸国向けに汎用機の拡販に注力致しました。調達につきましては、中国、台湾などから部材調達を推進し原価低減にも取り組んでまいりました。

製品開発につきましては、医薬品業界向けにVCPC型間欠コンパクトカートナーを開発し、平成23年1月に宍道工場にて内覧会を開催し好評を博しており、拡販に向けて取り組んでまいります。また大型複合立型旋盤のニーズに応えNeoシリーズを拡張し、テーブル径4m~6mのNeo a-DXシリーズの開発を致しました。今後は重電メーカーや、バルブ、ポンプなどのインフラプラント向けに受注活動に注力してまいります。

またグループ全体での事業の再編に取り組み、連結子会社のオーエムエンジニアリング(株)を統合し、生産効率の向上や固定費削減にも取り組んでまいりました。

しかしながら、受注の状況は航空機、建設機械業界など一部に明るい兆しがありますものの、依然厳しい状況が続いており、

また利益面におきましても、競合先との価格競争など経営環境は厳しく、当連結会計年度の実績は、売上高87億3千7百万円（前年同期比24.3%減）、営業利益12億3千万円（前年同期比41.8%減）、経常利益12億1千万円（前年同期比43.5%減）、当期純利益6億7千3百万円（前年同期比37.0%減）となりました。

当社の利益配分につきましては、これまで、株主の皆様への利益還元を経営の最重要課題の一つと位置づけ、配当の維持・向上ならびに内部留保の充実を総合的に勘案し、剰余金の配当については、当期の業績を基本とし、連結配当性向25%を目処に、30%を目標として継続的に実施することを基本方針としてまいりました。しかしながら、ダイワボウホールディングス株式会社が、平成23年2月7日から平成23年3月22日まで実施しました当社株式を対象とする公開買付けが成立した為、平成23年3月31日を基準日とする期末配当を行った場合、本公開買付けに応募した株主の皆様と応募しなかった株主の皆様との間に経済的効果の差異を生じる可能性があることから、当連結会計年度の期末配当につきましては無配とさせていただきます。

第四次中期経営計画 (AGGRESSIVE-21IV)

経営理念

私たちは生産設備と技術サービスの提供を通じて顧客・社会に貢献できる企業を目指します。

数値目標 (平成25年3月期)

連結売上高 15,000百万円
 連結営業利益 2,700百万円
 連結当期純利益 1,570百万円

ビジョン

- 海外での事業（調達・生産・販売）を推進し、グローバル市場で勝ち抜く
- 「モノづくり力」を磨き、高品質な製品を提供し、企業価値の向上を目指す
- コンプライアンス重視の経営

経営施策

- 海外展開の推進** 海外生産、海外調達を推進し中国および周辺国で生産拠点の立上げを目指す
 ・海外売上高 最終年度 連結売上高の30%を目標とする
 中国、韓国、インドをはじめとするアジア地域の成長新興国をターゲット
 機能を絞った汎用機や、重電関連、インフラ関連向けに超大型立型旋盤を拡販
- 営業戦略** ユーザーのグローバル化に対応する海外販売の推進
 ・ラインエンジニアリングを提案しライン受注の拡大／提案型営業の推進
- 製品開発の強化** 立旋盤のトップメーカーとして入門機から超大型立型旋盤までフルライン化
 ・新規マーケット（成長分野、海外市場）へ対応する製品開発の推進
- モノづくり力の強化** 品質第一主義 ・技術・技能の伝承推進
- コンプライアンス重視の企業活動** 内部統制制度を実践し、社員一人一人へ意識付ける

今後の課題と見通しについて

次期の見通しにつきましては、当社グループの属する機械業界の経営環境は、中国や韓国など新興国からの引き合いや、国内企業の生産拠点の海外移転などにより海外からの設備投資意欲は回復してきておりますが、価格競争は依然厳しい状況であります。また、内需につきましては、東日本大震災の影響から設備投資の回復には慎重な見方をせざるをえない状況と思われ

ます。そのような環境の中で、当社はこの厳しい局面に立ち向かうべく、今年度を2年目とする第4次中期経営計画（AGGRESSIVE-21Ⅳ）で策定した経営施策を確実に実践し、企業価値の持続的向上に取り組んでまいります。

尚、ダイワボウホールディングス株式会社による当社株式を対象とする公開買付けが成立し、当社は、平成23年7月1日付で株式交換によりダイワボウホールディングス株式会社の完全子会社となる予定です。今後は、ダイワボウホールディングスグループの産業インフラ事業を担い、従来の工作機械、自動包装機械の製造・販売に取り組むとともに、ダイワボウホールディングス株式会社が有している、海外事業に係るノウハウの有効活用や海外情報の共有により海外事業の拡大に取り組んでまいります。さらに、IT技術を融合した高付加価値製品の開発に取り組む予定です。

株主の皆様には、今後とも当社およびダイワボウホールディングスグループに、一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

セグメント別事業概況

Review of Operations

一般機械の製造販売事業

一般機械の製造販売事業につきましては、設備投資意欲の強い航空機、建設機械業界へ中・大型立旋盤の販売に注力するとともに、底堅い需要の有る鉄道業界向けには車輪旋盤の拡販に努めました。また食品、製菓業界、日用品業界向けには省エネ・省スペースのカートナーなど自動包装機械の拡販に取り組みました。



自動機械 VCRC



工作機械 VTLex1600M

鋳造品の製造販売事業

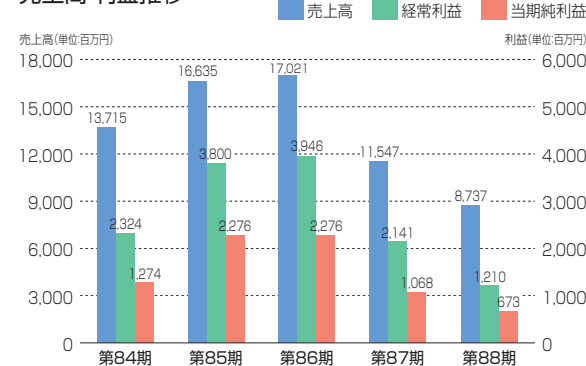
鋳造品の製造販売事業につきましては、工作機械、産業機械業界からの需要の持ち直しや、生産の効率化や固定費削減効果により黒字転換を図ることができました。

その他

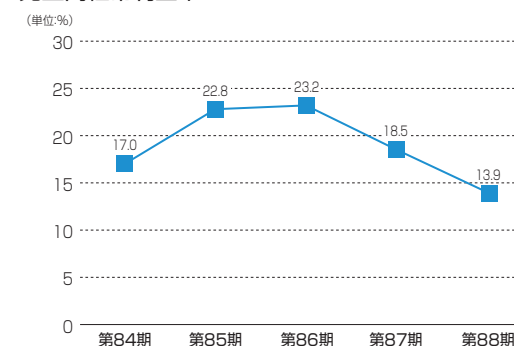
ガソリンスタンド、ゴルフ練習場等による収入を計上しました。

連結財務ハイライト

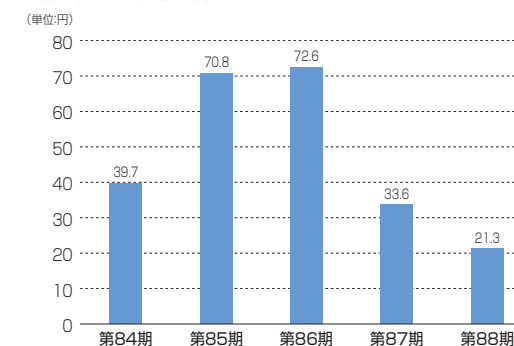
売上高・利益推移



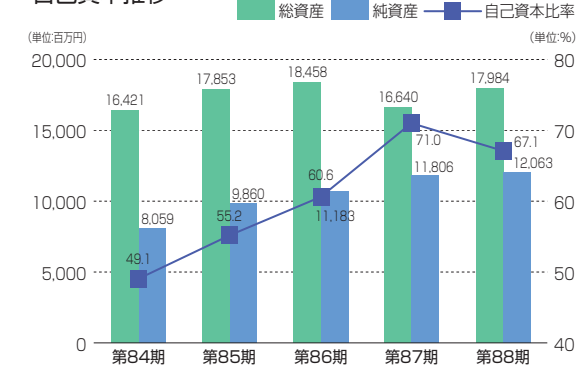
売上高経常利益率



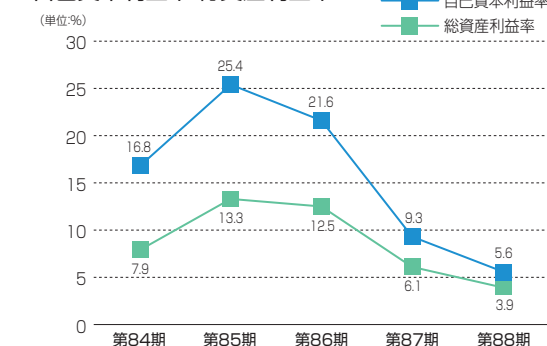
1株当たり当期純利益



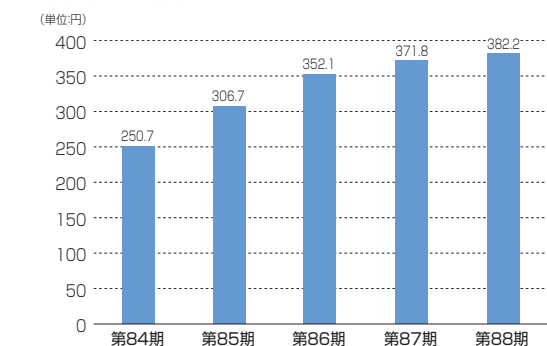
自己資本推移



自己資本利益率・総資産利益率



1株当たり純資産



連結貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
【資産の部】		
流動資産	13,570	12,044
現金及び預金	8,076	6,768
受取手形及び売掛金	2,948	3,634
親会社株式	86	—
商品及び製品	638	176
仕掛品	1,504	958
原材料及び貯蔵品	78	60
繰延税金資産	195	285
その他	52	172
貸倒引当金	△ 10	△ 11
固定資産	4,413	4,596
有形固定資産	3,078	3,066
建物及び構築物	1,291	1,366
機械装置及び運搬具	1,149	1,038
土地	520	520
リース資産	43	47
建設仮勘定	0	31
その他	73	62
無形固定資産	37	46
ソフトウェア	37	46
その他	0	0
投資その他の資産	1,297	1,482
投資有価証券	398	579
敷金及び保証金	68	87
繰延税金資産	14	—
長期預金	800	800
その他	16	30
貸倒引当金	△ 0	△ 14
資産合計	17,984	16,640

	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
【負債の部】		
流動負債	5,674	4,586
支払手形及び買掛金	2,126	1,396
短期借入金	1,765	1,765
リース債務	17	15
未払法人税等	148	22
未払費用	238	277
賞与引当金	249	273
製品保証引当金	78	103
その他	1,050	733
固定負債	246	247
リース債務	27	34
繰延税金負債	—	32
退職給付引当金	187	131
役員退職慰労引当金	31	48
負債合計	5,921	4,833
【純資産の部】		
株主資本	11,995	11,688
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	10,558	10,202
自己株式	△ 524	△ 475
その他の包括利益累計額	68	118
その他有価証券評価差額金	71	120
為替換算調整勘定	△ 3	△ 2
純資産合計	12,063	11,806
負債・純資産合計	17,984	16,640

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	8,737	11,547
売上原価	5,713	7,397
売上総利益	3,023	4,149
販売費及び一般管理費	1,792	2,034
営業利益	1,230	2,115
営業外収益	34	79
営業外費用	54	53
経常利益	1,210	2,141
特別利益	6	15
特別損失	60	271
税金等調整前当期純利益	1,155	1,885
法人税、住民税及び事業税	407	636
法人税等調整額	75	180
法人税等合計	482	817
少数株主損益調整前当期純利益	673	—
当期純利益	673	1,068

連結株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額			純資産 合計	
	資本金	資本 剰余金	利益 剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定		その他の包括 利益累計額合計
平成22年3月31日 残高	1,660	301	10,202	△ 475	11,688	120	△ 2	118	11,806
連結会計年度中の変動額									
剰余金の配当			△ 317		△ 317				△ 317
当期純利益			673		673				673
自己株式の取得				△ 49	△ 49				△ 49
自己株式の処分				0	0				0
株主資本以外の項目の連結会計 年度中の変動額(純額)					—	△ 49	△ 0	△ 50	△ 50
連結会計年度中の変動額合計	—	△ 0	355	△ 49	306	△ 49	△ 0	△ 50	256
平成23年3月31日 残高	1,660	301	10,558	△ 524	11,995	71	△ 3	68	12,063

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,171	1,493
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 478	△ 1,089
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 383	△ 490
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 0	0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,308	△ 86
現金及び現金同等物の期首残高	5,315	5,401
現金及び現金同等物の期末残高	6,623	5,315

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)
少数株主損益調整前当期純利益	673
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	△ 49
為替換算調整勘定	△ 0
その他の包括利益合計	△ 50
包括利益	623
(内訳)	
親会社株主に係る包括利益	623
少数株主に係る包括利益	—

貸借対照表

(単位：百万円)

	当期 平成23年3月31日現在	前期 平成22年3月31日現在
流動資産	13,346	11,500
現金及び預金	7,991	6,687
受取手形及び売掛金	2,585	3,306
棚卸資産	2,137	1,066
その他	631	440
固定資産	4,256	4,335
有形固定資産	2,816	2,690
無形固定資産	37	46
投資その他の資産	1,401	1,597
投資有価証券	391	461
その他	1,010	1,135
資産合計	17,602	15,836
流動負債	6,402	4,890
支払手形及び買掛金	1,714	1,212
短期借入金	2,659	2,348
賞与引当金	223	216
製品保証引当金	78	103
その他	1,727	1,010
固定負債	260	280
負債合計	6,662	5,171
株主資本	10,870	10,546
資本金	1,660	1,660
資本剰余金	301	301
利益剰余金	9,433	9,060
自己株式	△ 524	△ 475
評価・換算差額等	69	118
その他有価証券評価差額金	69	118
純資産合計	10,939	10,665
負債・純資産合計	17,602	15,836

損益計算書

(単位：百万円)

	当期 (平成22年4月1日から 平成23年3月31日まで)	前期 (平成21年4月1日から 平成22年3月31日まで)
売上高	7,501	10,551
売上原価	4,688	6,582
売上総利益	2,813	3,968
販売費及び一般管理費	1,620	1,778
営業利益	1,192	2,190
営業外収益	76	147
営業外費用	70	62
経常利益	1,198	2,275
特別利益	6	—
特別損失	60	242
税引前当期純利益	1,144	2,032
法人税、住民税及び事業税	398	663
法人税等調整額	55	145
当期純利益	690	1,224

株主資本等変動計算書 (平成22年4月1日から平成23年3月31日まで)

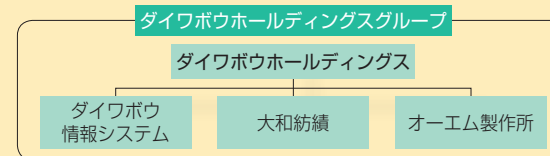
(単位：百万円)

	株主資本										評価・換算差額等 その他有価証券 評価差額金	純資産 合計	
	資本金	資本剰余金			利益剰余金				自己 株式	株主資本 合計			
	資本 準備金	その 他 資本 剰余金	資本 剰余金 合計	利 益 準備金	特別 償却 準備金	別 途 積立 金	繰 越 利益 剰余金	利益 剰余金 合計					
平成22年3月31日 残高	1,660	301	0	301	394	145	7,400	1,120	9,060	△475	10,546	118	10,665
事業年度中の変動額	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—	△317	△317	△317	△317	—	△317
特別償却準備金の取崩	—	—	—	—	△20	—	—	20	—	—	—	—	—
当期純利益	—	—	—	—	—	—	690	690	—	690	690	—	690
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△49	△49	—	△49
自己株式の処分	—	—	△0	△0	—	—	—	—	—	0	0	—	0
株主資本以外の項目の事業年度中の変動額(純額)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	△48	△48
事業年度中の変動額合計	—	—	△0	△0	—	△20	—	393	372	△49	323	△48	274
平成23年3月31日 残高	1,660	301	0	301	394	124	7,400	1,514	9,433	△524	10,870	69	10,939

ダイワボウホールディングス株式会社との経営統合による
オーエム製作所株式の今後の取扱いについて

Q オーエム製作所は
今後どうなるのですか

A ダイワボウホールディングス株式会社の完全
子会社として、従来通り工作機械、自動包装
機械の製造、販売を行うとともに、ダイワボ
ウグループの海外ネットワークや経営インフ
ラを活用し、海外事業の拡大とIT技術を融合
した高付加価値製品の開発を推進し、企業価
値の向上を図ります。



Q 経営統合日程はどうなるのですか

A 下記の日程を予定しています。

6月27日(月)	オーエム製作所株式最終売買日
6月28日(火)	オーエム製作所上場廃止日
7月 1日(金)	株式交換実施日 オーエム製作所株式がダイワボウホール ディングス株式に交換され、オーエム製 作所はダイワボウホールディングス株式 会社の完全子会社となります。

Q オーエム製作所の株式は
どうなるのですか

A オーエム製作所株式1株に対して、ダイワボ
ウホールディングス株式3.10株を、7月1日
に割当交付します。例えばオーエム製作所株
式1,000株を保有されている方には、3,100
株のダイワボウホールディングス株式が割当
交付されます。株主の皆様には、特段手続き
頂くことはございません。後日、株式交換に
伴うダイワボウホールディングス株式割当の
通知をお届出のご住所宛てに発送いたします
ので、ご確認ください。なお、ダイワボウ
ホールディングス株式は東京証券取引所第一
部、大阪証券取引所第一部に上場しています。

オーエム製作所の株式についてご不明な点
がありましたら、

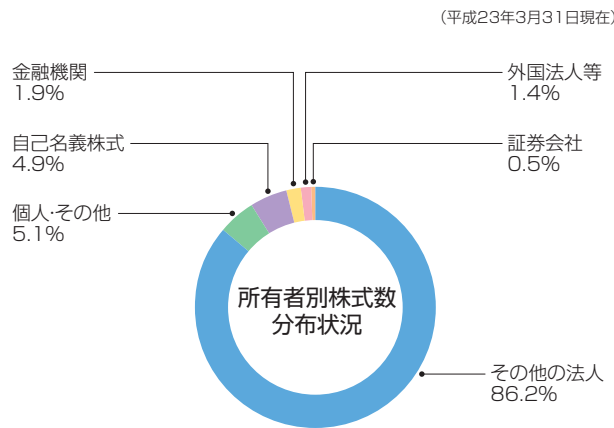
(株)オーエム製作所経営企画管理部

06-6350-1200

までお問い合わせください。

株式の状況 (平成23年3月31日現在)

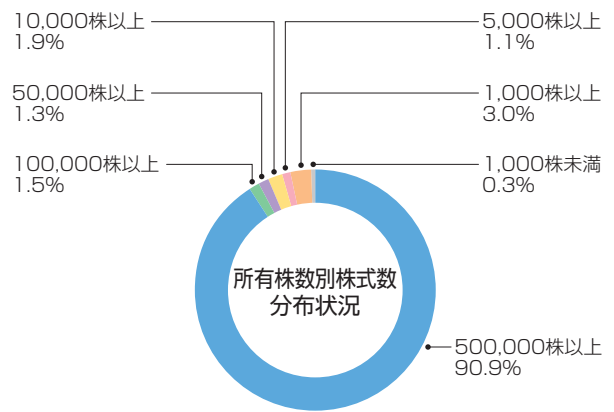
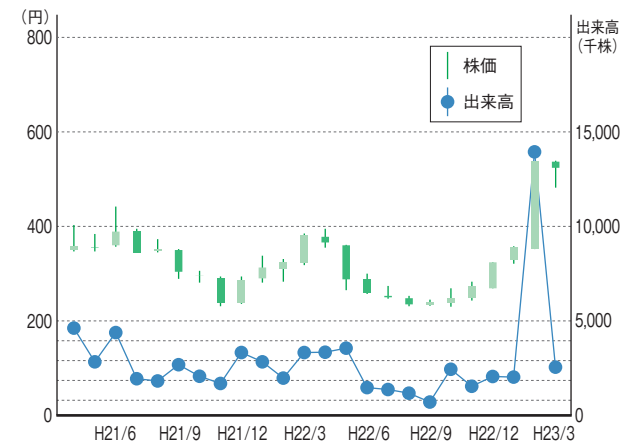
発行可能株式総数	88,000,000株
発行済株式の総数	33,200,000株
株主数	1,820名



大株主の状況 (平成23年3月31日現在)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
ダイワボウホールディングス株式会社	28,557	86.0
株式会社オーエム製作所	1,634	4.9
株式会社三菱東京UFJ銀行	370	1.1
バンクオブニューヨーク・シー・エム クライアント アカunts ジー・ピー・アル・ディー・アイ・エス・イー・アイ・シー	128	0.4
日本マスタートラスト信託銀行 株式会社 (信託口)	85	0.3
小田 総一郎	84	0.3
みずほ証券株式会社	79	0.2
モルガンスタンレーアンドカンパニーインク	66	0.2
日本トラスティ・サービス信託銀行 株式会社 (信託口)	57	0.2
バンクオブニューヨーク・シー・エム クライアント アカunts ジー・ピー・アル・ディー・アイ・エス・イー・アイ・シー	55	0.2

株価・売買高の推移 (平成21年4月～平成23年3月)



会社概要 (平成23年3月31日現在)

社名	株式会社オーエム製作所
英文社名	O-M Ltd.
創業	大正9年2月
設立	昭和24年7月
資本金	16億6千万円
主要な事業内容	自動機械、工作機械、その他諸機械の製造販売
従業員数	315名(連結)、254名(単体)
上場証券取引所	東京、大阪
証券コード	6213
会計監査人	新日本有限責任監査法人

役員 (平成23年3月31日現在)

取締役社長	山村 英司
常務取締役	若月 博
取締役	大森 博
取締役	笹倉 誠
取締役	佐脇 祐二
常勤監査役	富江 登
監査役	品田 邦夫
監査役	菅野 肇
監査役	吉本 隆太郎

事業所 (平成23年3月31日現在)

本社	大阪市淀川区宮原三丁目5番24号 (新大阪第一生命ビル) TEL (06) 6350-1200 (代表) 〒532-0003
東京支店	東京都台東区上野一丁目10番10号 (うさぎやビル) TEL (03) 3837-1271 (代表) 〒110-0005
名古屋営業所	名古屋市東区葵一丁目13番18号 (サッサセンタービル) TEL (052) 930-0058 〒461-0004
播磨営業所	兵庫県加古郡播磨町南野添三丁目6番6号 (JA播磨支店ビル) TEL (079) 441-1727 〒675-0151
宍道工場	島根県松江市宍道町佐々布75番地 TEL (0852) 66-0311 (代表) 〒699-0406
長岡工場	新潟県長岡市北園町2番1号 TEL (0258) 24-1550 (代表) 〒940-0014
自動機事業部サービスセンター	大阪市淀川区宮原三丁目5番24号 (新大阪第一生命ビル) TEL (06) 6350-1203 〒532-0003

連結対象子会社 (平成23年3月31日現在)

オーエム金属工業株式会社 (鋳造品の製造、販売・機械部品の加工)
オムテック株式会社 (レジャー関連)
O-M (U.S.A.), INC. (工作機械製品の営業支援)
TAIWAN O-M CO.,LTD. (工作機械の製造、販売)
オーエム技研株式会社 (休眠会社)
オーエムエンジニアリング株式会社 (休眠会社)